

顕現後第3主日特祷

限りなくいます全能の神、天においても地においても万物を支配しておられる主よ、どうか慈しみをもって主の民の願いを聞き入れ、主による平安をこの時代にお与えください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 ネヘミヤ記 8章1-3、5-6、8-10節

8:1 民は皆、水の門の前にある広場に丸となって集まった。彼らは書記官エズラに、主がイスラエルに授けられたモーセの律法の書を持って来るように言った。2 祭司エズラは第七の月の一日に、律法を会衆の前に携えて来た。そこには、男も女も、聞いて理解することのできるすべての者がいた。3 彼は水の門の前にある広場で、夜明けから正午まで、男も女も、理解できる者の前で、それを朗読した。民は皆、その律法の書に耳を傾けた。

5 エズラはすべての民よりも高い所にいたので、民全員の目の前でその書を開いた。彼が書を開くと、民は皆、立ち上がった。6 エズラが大いなる神、主をたたえ、民は皆、手を上げて「アーメン、アーメン」と答え、ひざまずき、顔を地に伏せて、主を礼拝した。8 彼らは神の律法の書をはっきりと朗読し、また意味を明らかにしたので、人々はその朗読を理解した。9 総督ネヘミヤと、祭司であり書記官であるエズラと、民に律法を説明していたレビ人たちは、民全員に言った。「今日はあなたがたの神、主の聖なる日だ。嘆いたり、泣いたりしてはならない。」民は皆、律法の言葉を聞いて泣いていた。10 彼らはさらに言った。「行ってごちそうを食べ、甘い飲み物を飲みなさい。その備えのない者には、それを分けてあげなさい。今日は、我らの主の聖なる日だ。悲しんではならない。主を喜びとすることこそ、あなたがたの力であるからだ。」

詩 編 第19編

- 1 天は神の栄光を語り || 大空は御手の業を告げる
- 2 昼は昼に言葉を伝え || 夜は夜に知識を送る
- 3 語ることもなく、言葉もなく || その声は聞こえない
- 4 その声は全地に、その言葉は世界の果てまで || そこへ神は太陽のために幕屋を張った
- 5 太陽は花婿のように祝いの部屋を出て || 勇者のように喜び勇んで道を駆け抜ける
- 6 天の果てを出で立ち、四方の果てまで行き巡る || 何一つその熱から隠れるものはない
- 7 主の律法は完全で、魂を生き返らせ || 主の定めはまことで、無知な者を賢くする
- 8 主の諭しはまっすぐで、心を喜ばせ || 主の戒めは純粹で、目を光り輝かせる
- 9 主への畏れは清く、いつまでも続く || 主の裁きは真実で、ことごとく正しい
- 10 金よりも、あまたの純金よりも好ましく || 蜜よりも、蜂の巣の滴りよりも甘い
- 11 あなたの僕もこれらによって教えを受けました || これらを守るとき報いは大きい
- 12 誰が知らずに犯した過ちに気付くのでしょうか || 隠れた罪から私を解き放ってください

い

- 13 あなたの僕を傲慢から引き離し、これに支配されないようにしてください || その時、私は全き者となって、多くの背きの罪から解き放たれるでしょう
- 14 私の口が語ることと心の思いとが御前で喜ばれますように || 主よ、わが大岩、わが贖い主よ

使徒書 コリントの信徒への手紙一 12章12-31節 a

12:12 体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様です。13 なぜなら、私たちは皆、ユダヤ人もギリシア人も、奴隷も自由人も、一つの霊によって一つの体となるために洗礼(バプテスマ)を受け、皆一つの霊を飲ませてもらったからです。14 実際、体は一つの部分ではなく、多くの部分から成っています。15 足が、「私は手ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるでしょうか。16 耳が、「私は目ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるでしょうか。17 もし体全体が目だったら、どこで聞きますか。もし全体が耳だったら、どこで嗅ぎますか。18 そこで神は、御心のままに、体に一つ一つの部分を置かれたのです。19 すべてが一つの部分であったら、体はどこにあるのでしょうか。20 しかし実際は、多くの部分があっても、体は一つなのです。21 目が手に向かって「お前は要らない」とは言えず、また、頭が足に向かって「お前たちは要らない」とも言えません。22 それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分が、かえって必要なのです。23 私たちは、体の中でつまらないと思える部分にかえって尊さを見いだします。実は、格好の悪い部分が、かえって格好の良い姿をしているのです。24 しかし、格好の良い部分はそうする必要はありません。神は劣っている部分をかえって尊いものとし、体をつつとまとめ上げてくださいました。25 それは、体の中に分裂が起こらず、各部分が互いに配慮し合うためです。26 一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、すべての部分が共に喜ぶのです。27 あなたがたはキリストの体であり、一人一人はその部分です。28 神はご自身のために、教会の中でいろいろな人をお立てになりました。第一に使徒、第二に預言者、第三に教師、次に奇跡を行う者、その次に癒やしの賜物を持つ者、援助する者、管理する者、種々の異言を語る者などです。29 皆が使徒でしょうか。皆が預言者でしょうか。皆が教師でしょうか。皆が奇跡を行う者でしょうか。30 皆が癒やしの賜物を持っているでしょうか。皆が異言を語るでしょうか。皆がそれを解き明かすでしょうか。31 あなたがたは、もっと大きな賜物を熱心に求めなさい。

福音書 ルカによる福音書 4章14-21節

4:14 イエスが霊の力に満ちてガリラヤに帰られると、その噂が周り一帯に広まった。

15 イエスは諸会堂で教え、皆から称賛を受けられた。

16 それから、イエスはご自分の育ったナザレに行き、いつものとおり安息日に会堂に入り、朗読しようとしてお立ちになった。17 預言者イザヤの巻物が手渡されたので、それを開いて、こう書いてある箇所を見つけられた。18 「主の霊が私に臨んだ。貧しい

人に福音を告げ知らせるために、主が私に油を注がれたからである。主が私を遣わされたのは、捕らわれている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、打ちひしがれている人を自由にし、19 主の恵みの年を告げるためである。」

20 イエスは巻物を巻き、係の者に返して座られた。会堂にいる皆の目がイエスに注がれた。21 そこでイエスは、「この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」と話し始められた。